

平成29年9月27日

養父市長 広瀬 栄 様

養父市行政改革推進委員会  
会長 北本 健一郎

## 平成30年度の行政改革に向けた提言

全国の過疎地域においては、少子・高齢化、人口流出、産業基盤の弱体化など様々な問題を抱えており、養父市においても同様の課題を抱えている。

この問題に歯止めをかけるべく「国家戦略特区」の指定を受け、地方創生の取り組みを実行している所であり、新たな事業者の誕生など明るいニュースも生まれてきていることは喜ばしいことである。

しかし、養父市は依然として自主財源が少なく交付税や補助金に頼らざるを得ない財政状況であることから、行政改革を継続していかねばならない。

そのような中、本年度は、長期的な視点に立った第4次行政改革大綱の作成とあわせて、平成30年度に向けた提言を下記のとおりまとめたところである。

普通交付税などの合併算定替えなどの特例加算が終了していく中で、養父市が持続的な行政運営ができるように行政改革に今後とも取り組んでいただきたい。

### 記

- 1 普通交付税などの合併算定替えの特例加算額が年々減少しており、平成31年度に加算額がなくなることを踏まえた予算編成をお願いしたい。
- 2 事業のコストパフォーマンス（費用対効果）の認識を強く持ってもらいたい。  
市の業務においては、各種証明の発行事務といった費用対効果だけでは測れない事業もあるが、公金による事業執行であることを意識してもらいたい。  
また、観光施設等においては、更なる指定管理者制度の導入を図るなど、市民サービスの向上・歳出の削減に努めていただきたい。  
全事業において、歳入の増加・歳出の削減などを図り、費用対効果を最大限にするようにお願いしたい。

- 3 残念ながら、市が行っている様々な事業が、市民全体に知られていない。多くの市民からの意見を拾い上げるためにも、広報紙、ホームページ、SNSなどでの情報発信や市民と対話をする機会を実施するなど、市民が市の取り組みを知ることができる機会の増加をお願いしたい。
  
- 4 養父市文化会館(仮称)建設事業については、養父市誕生以来最大級の事業である。これまで養父市文化会館(仮称)建設基本構想の策定などを行ってきたところであるが、平成30年度からは建設に向けて具体的に取り組みが始まる。市民の意見が反映された施設になるように取り組んでいただきたい。  
また、建設にあたっては、施設の機能(ホール・図書館機能等)・規模やランニングコストなどを徹底的に検討しコストを最小にして最大の効果をあげられるように取り組んでもらいたい。そのような中でも、“養父市らしさ”を備えたシンボリックな建物として市民が利用できるような施設整備をお願いしたい。
  
- 5 本年度は、市の事業のうち別添の9事業を抽出し事務事業評価を行った。評価を行った事業の中には厳しい意見を添えた事業もあるが、今後は、評価結果を踏まえた事業展開をお願いするとともに、評価した事業がどのように改善されたかの検証を行っていただきたい。

(別添)

## 平成 29 年度 事務事業評価結果について

(1) 墓地管理事業 所管課：市民課

事務事業評価結果：維持

委員会意見

霊苑については、今後も市が維持管理していく必要性があるものである。

しかし、市民の数も減っていく中での空き区画の問題、所有者の高齢化による維持管理の問題等、今後の対応については検討を図られたい。

(2) 関宮山村開発センター維持管理費 所管課：関宮地域局

事務事業評価：廃止

委員会意見

市当局が廃止の検討を行っていることには、当施設の築年数や利用状況等から考えると委員会としても同意見である。

廃止（解体）後の市民ドックといった大人数が利用する際などについては近隣施設の利用などを検討しコストの削減を図ること。

(3) 温暖化防止対策事業 所管課：環境推進課

事務事業評価：維持

委員会意見

地球温暖化防止は世界的に取り組むべき事であり、積極的に行ってもらいたい。

計画の実行に際して市民としてどのようなことに取り組むのかが伝わっておらず、積極的なPRを行ってもらいたい。

他地域では行っていないような養父市独自の温暖化防止対策にも取り組んでもらいたい。

(4) 記念館管理費 所管課 社会教育課

事務事業評価：維持すべきだが、改善すべき点がある。

委員会意見

文化施設であり必要性はあるが、改善すべき点がある。

特に山田風太郎記念館においては、山田風太郎氏の功績等は素晴らしいものと思うが、施設の運用方法を改善する必要がある。

また、来館者も減少しているので風太郎氏関連の新たなイベントを行ったり、

市内他施設や地域住民との連携を図るなど、来館者数の増加に努めると同時に、例えば、整備が計画されている養父市文化会館（仮称）内で事業を運営する等の将来のあり方を検討いただきたい。

(5) 体育施設管理費 所管課 生涯スポーツセンター

事務事業評価：維持すべきだが、改善すべき点がある。

委員会意見

市の総合的な運動施設であることから必要な施設であるが、改善すべき点がある。

公園機能のうち植樹林部分の管理については、植樹から年月が経過しており、木々の成長もあることから管理方法の改善をお願いしたい。

また、本年度に施設内の老朽化した建物の解体を行うとのことだが、利用者が多い施設であるので、今後も同様の建物が出てきた場合は速やかに対応いただきたい。

本年度から市直営での運営に変更されたが、来年度には指定管理者を指定できるように取り組んでいただきたい。なお、指定管理にあたっては、全天候運動場等も含め最も費用対効果が高くなるような指定管理の方法を検討し、コストの削減・魅力の向上を図ること。

(6) 天文館管理運営事業 担当課：生涯スポーツセンター

事務事業評価：維持すべきだが、改善すべき点がある。

委員会意見

若杉高原おおやキャンプ場との連携等や豊岡高校の生徒の利用などPRの取り組みなどにより利用者も増えてきているが、更なる利用者増に向けての努力をお願いしたい。

社会教育施設であり費用対効果だけで図るべきものではないが、費用対効果も重要である。今後、利用者が増えないならば、運営方法の見直しや民間委託、さらには廃止など施設のあり方を検討すること。

(7) フルーツの里管理運営事業 担当課：農林振興課

事務事業評価：廃止

委員会意見

産地直売所であるフルーツの里やぶの運営を通じ、農産物の地産地消の促進や生産意欲の向上を図ってきたが、近年、ネクタリン生産組合の解散、生産者の高齢化等による持込量の減少、北近畿豊岡自動車道の開通・延伸といった道路事情の変化の影響により、平成20年度の売り上げのピークから比べて平成28年度においては約40%減と大幅な減少となっており、施設の維持管理においても例年赤字が続いている状況である。

また、市内には他にも直売所が設立されるなど、設立時（平成7年）にフルーツの里が担ってきた役割や環境にも変化が見られる。

地産地消の一翼を担う施設ではあるが、位置づけに変化がみられることなどからも、本事業は廃止し、新たな施策による農業振興を考えていただきたい。

(8) たい肥センター事業 担当課：農林振興課

事務事業評価：維持だが、民間委託等を検討すべき

委員会意見

堆肥センター産のたい肥は、兵庫県の賞を受賞するなど、高品質であり、有機農法を進めるにあたり必要な施設であると考えられる。

しかし、多額の赤字が生じている現状は早急に改善する必要がある。

他の自治体がどのようにたい肥施策を行っているのかを調査すること。

運営面においては、現在の直営ではなく民間委託等の検討による運営の効率化によるコスト削減と同時にたい肥の積極的な販売を行い収支の改善を行うこと。

また、センターの利用が地域との協定により5件の農業者しかできないという現状については、処理能力等の問題もあるかとは思いますが、市全体で使えるような仕組みへの変更を検討すること。

市として様々な改善策を講じた上でも、収支の改善等が見られない場合は施設の譲渡等を行うなど廃止についても検討すること。

(9) 外国青年英語指導助手招致事業 担当課：教育委員会教育総務課

事務事業評価：維持

委員会意見

グローバル社会において、英語とふれあえる機会が増えることは良いことである。英語助手が学校内だけでなく、地域に出て市民と交流を持つ機会など今後も様々な機会において外国語と触れ合える機会を増やす取り組みをお願いする。

また、帰国後にも養父市の情報発信を担ってもらうなど、グローバルな市の魅力発信を担ってもらうような取り組みも行うこと。

# 養父市行政改革推進委員会名簿

(敬称略)

会 長 北 本 健一郎

職務代理者 松 原 眞起子

委 員 小 林 治 平

委 員 福 井 悟

委 員 秋 山 寛 明

委 員 橋 本 聖 子

委 員 上 垣 操

委 員 藤 原 光 子

委 員 濱 靖 典

## 審 議 経 過

- 日時 平成 29 年 6 月 28 日 (水)
- 内容 「平成 30 年度の行政改革に向けた提言に向けて」の事務事業評価の実施について ほか
  
- 日時 平成 29 年 7 月 12 日 (水)
- 内容 事務事業評価事業の決定について ほか
  
- 日時 平成 29 年 8 月 3 日 (木)
- 内容 事務事業評価の実施 ほか
  
- 日時 平成 29 年 9 月 8 日 (金)
- 内容 「平成 30 年度の行政改革に向けた提言に向けて」(案)の検討について ほか